



全体ゾウを捕まえる！

EXPLORE THE “WHOLE ELEPHANT “

とんがりチーム®研究所の3つのメソッドは、こんな効果を生みます。

とんがりチーム®研究所の支援は、どんなもの？ たとえ話でご紹介します。

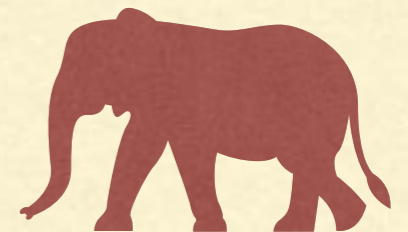
こんな類いのお話をお聞きになったことがあるでしょう（インドの寓話を少しアレンジしてみました）。

少年たち6人が広場に集められ、ゲームをすることになりました。彼らは全員目隠しをされ、そこに置かれたものを手で触って何だか当ててみようというものです。ところがそれを触った後、全員が違う感想を言いました。「柱」「つな」「パイプ」「うちわ」「壁」「ボール」。

少年たちは自分こそ正しいと主張し合い、ケンカが始まってしまうほどでした。結局、それぞれのイメージを合わせてみたら、それぞれが同じものの別の部分に触っていたことに気づき、ゲームはめでたく終了しました。

「柱」=足、「つな」=尾、「パイプ」=鼻、「うちわ」=耳、「壁」=腹、「ボール」=眼。それらを合わせた全体は、一頭の大きな『ゾウ』だったのです！

とんがりチーム®研究所は、チームで創造的な全体ゾウを見つけ出すための支援を、3つの基本メソッドを使いながら丁寧に行います。

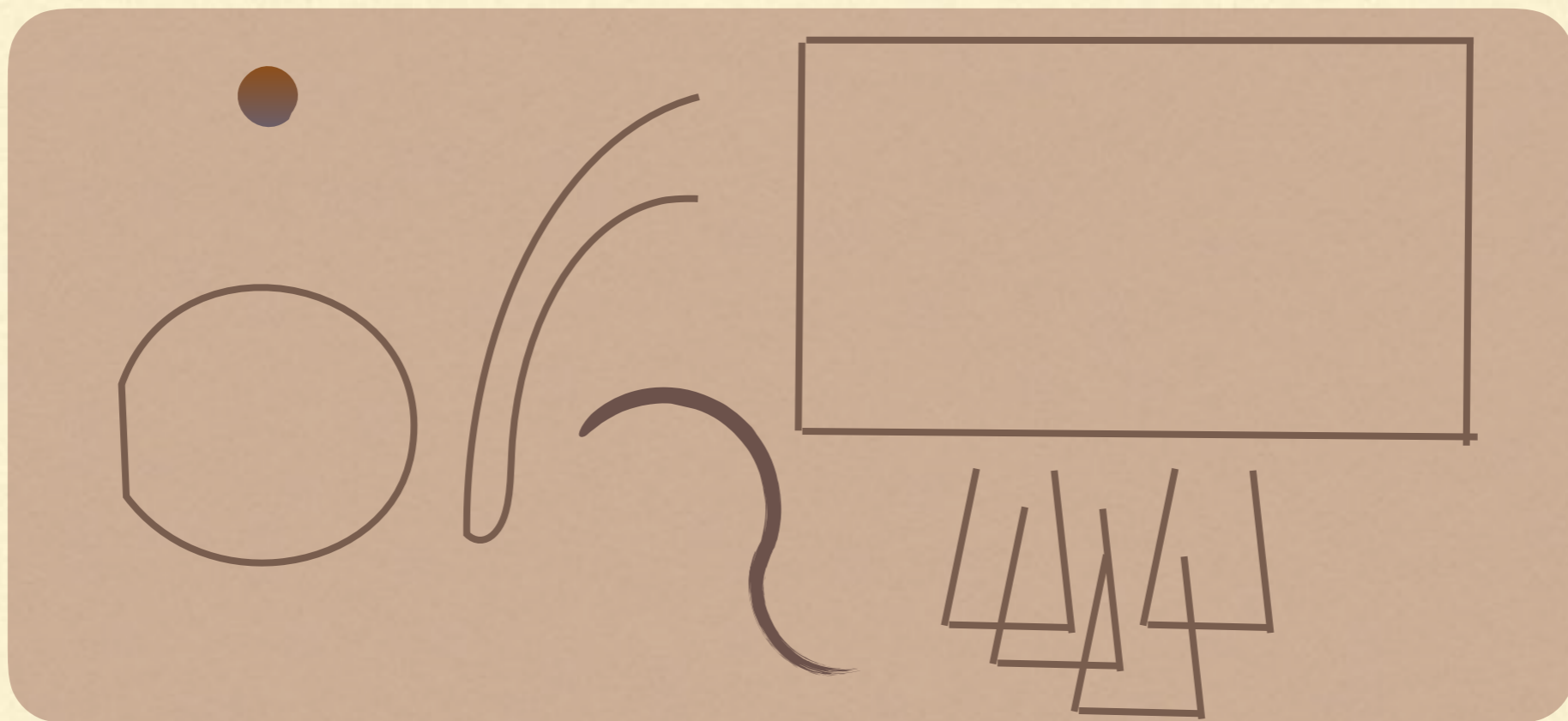


1. 誰も気がつかなかった問題を見つける

～とんがりチーム®カードワークのお役目～

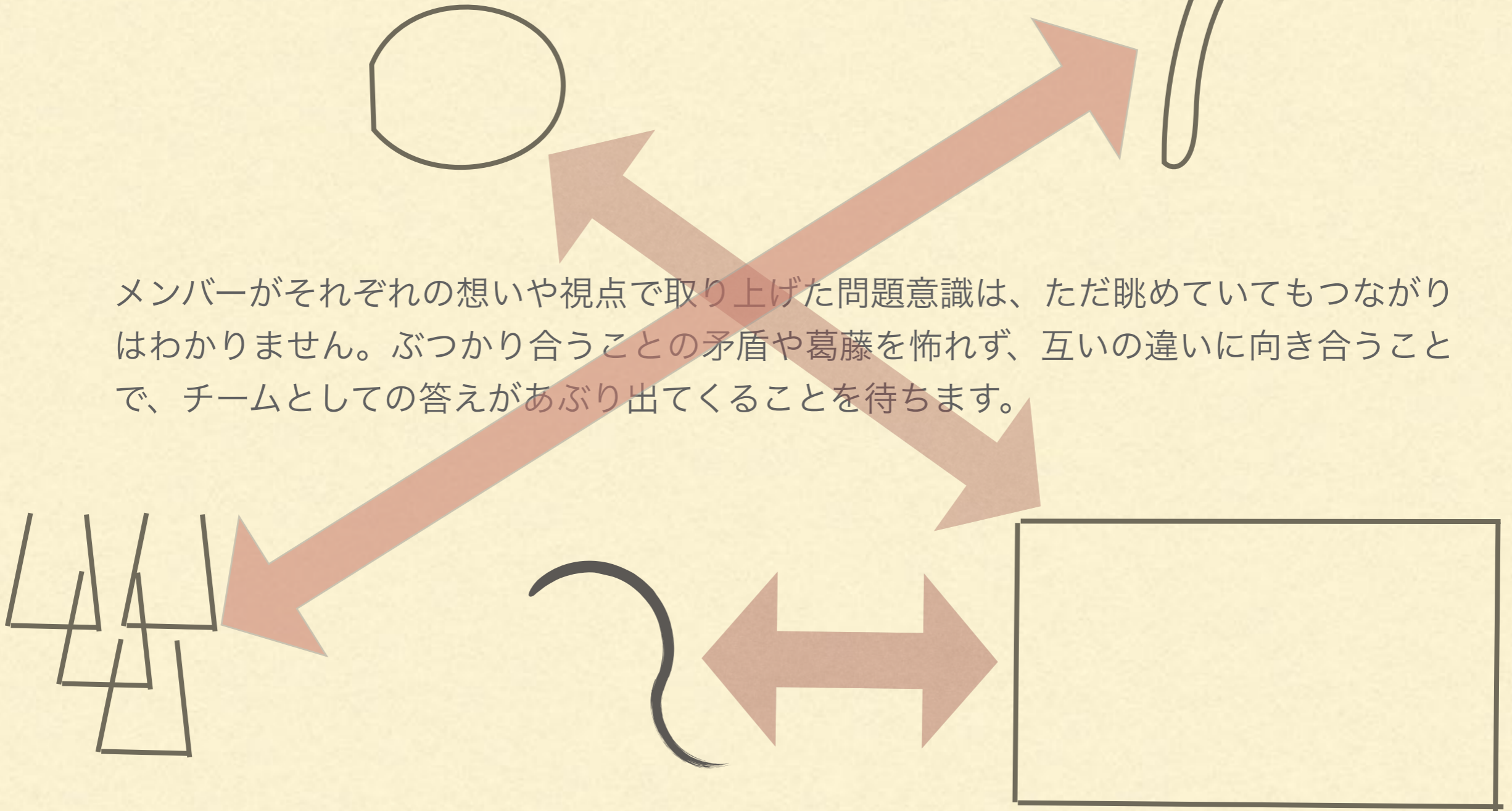
よく上司や声の大きいメンバーが「問題はうちわだ」と言ったら、あるいは、チーム内で「問題はパイプだ」とずっと信じられてきていたら……。問題はそれで固定され、解決策を考えても効果が得られることは残念ながらありません。

問題の芽は、他にも「壁」かもしれませんし、「ボール」かもしれません。最初のステージでは、それらを制約なくできるかぎり出して、眺めてみる必要があるのです。



2. お互いの「とんがり」をぶつけ合う ～とんがりチーム®マインドパターンのお役目～

メンバーがそれぞれの想いや視点で取り上げた問題意識は、ただ眺めていてもつながりはわかりません。ぶつかり合うことの矛盾や葛藤を怖れず、互いの違いに向き合うことで、チームとしての答えがあぶり出てくることを待ちます。



3. チームの戦略的な意志を定める ～とんがりチーム®キャンバスのお役目～

ぶつかり合いで生じた矛盾や葛藤を乗り越え、チームとしての答えが見えてきたら、最後にそれを「全体ゾウ」としてカタチに表現します。これで、大きな問題の把握、解決の方向性、そして、チームとしての一体感を手にすることができるのです！

